

2001 年 3 月 30 日

タイ「地場の市場プロジェクト」中間報告 No.2

2000 年 10 月～2001 年 2 月

日本国際ボランティアセンター（JVC）

松尾康範

2000 年 10 月にノンウェンソークブラ村（ノンヤブロン村の本村）で朝市がスタートしたことにより、プロジェクト対象 4 地域全てで朝市が始まった。ただし、この対象 4 地域のうち、「チャイパッター村 & ノンブア村」の朝市が現在休止している。一方、プロジェクトの波及効果として、新たに始まったボン郡ソークノックテー村の朝市は順調に取り組み、ボン郡に接するナコンラチャシマー県の 2 つの地域でも新たに朝市が始まった。

以下活動状況とプロジェクト地域の変化についてまとめる。

1. 主な活動（2000 年 10 月～2001 年 2 月）

この間は特にそれぞれ朝市を経験した村人の経験交流に力を入れてきた。外からの人が朝市はいいというだけではなく、朝市を経験した村が増えてきたことで、実際に朝市の活動で試行錯誤する村人たちが自身が見え交換できる場と他の村の朝市を見学しあう場を繰り返し提供してきた。それぞれの村での活動は、下記の 4 地域の現状を参照にして欲しい。

1) 活動支援グループ「アーシアン」がプロジェクト地視察

2000 年 11 月「地場の市場」プロジェクトの支援グループの一つ「アーシアン」が活動地を訪れた。「アーシアン」は生活クラブ生協千葉に関わる有志から生まれた N G O。女性が中心となり活動を繰り広げている。今回は、生活クラブ千葉の生産者である「元気クラブ」も応援に駆けつけてくれた。はじめてのプロジェクト地域訪問だったため、まずはプロジェクト地の現状を知ることが目的。活動地としてはノンウェンソークブラ村、ノンテー村を訪れた。また、日本の消費者運動の代表として、生活クラブ生協の活動についても各訪問村で話していただき、それをもとに村人たちと交流した。

2) 久留米公民館主催のスタディーツアー

2001 年 1 月下旬、久留米公民館主催のスタディーツアーが、プロジェクト地域を訪問した。この久留米のツアーは年に 1 回行われ、今回が 7 回目になる。このツアーに参加した人が、自分たちの力でボランティアチーム（K O V C）を立ち上げ、継続的に国際協力について考え、活動する場をつくっている。また、K O V Cはこのプロジェクトの支援

グループにもなってくれた。今回ツアーに参加したメンバーもK O V Cに関わり、継続的に活動に関わってくれることを期待する。

3) 4 地域活動報告及び年間計画ミーティング

今年 1 年の振り返り、そして来年の活動を計画するプロジェクトミーティングを 2 月 1 9 日 2 0 日の 2 日間に渡り開催した。プロジェクト各地域から約 30 名の村人が参加した。講師として、コンケン大学の元教授バンチョン・ゲオソーン氏、イサーン N G O C O D 委員長及びプロジェクト運営委員のサネー・ウィチャイウオン氏を招いた。

今年の活動を振り返り、来年度計画の中で今後の課題として村人から挙げられた事は、以下の 4 点である。

- 1 . 生産技術能力（有機農業）の向上
- 2 . 加工技術の向上
- 3 . 朝市の規則づくりの強化
- 4 . 市場開拓に関する能力向上

プロジェクトチームでは、この村人から挙げられた課題に沿って、来年度以降も研修や他地域への見学などの機会提供を継続しておこなっていく。

4) 3 月は、J V C 東京で開かれる年次計画ミーティングに備えて、3 月 5 日に J V C タイスタッフミーティング。この 1 年間の振り返りを行ない、来年度の計画を立てた。

2 . プロジェクト対象 4 地域の現状

1) コンケン県ポン郡ノンウェンソークブラ区ノンヤブロン村 & ノンウェンソークブラ村 & ノンウェンコート村

1999 年度の調査段階では、分村であるノンヤブロン村を中心に関わった。以前は、ノンヤブロン村に住む村人も本村から農地のあるこのノンヤブロンのあたりまで通っていたが、やがてそれが面倒になり、ノンヤブロン村を設立したという背景がある。朝市に興味を示したノンヤブロン村が、本村と協力し合い朝市を開催するということを提案。ノンヤブロン村と本村のノンウェンコート、ノンウェンソークブラの 3 村共同で 9 月 27 日に朝市委員会が設立された。前回の報告でも記載したが、各村から 4 人（女性 3 人、男性 1 人）の代表とプラス書記 1 人、13 人の委員会となった。実際に第 1 回目の朝市が始まったのは、10 月に入ってからである。月、水、土と週 3 回の朝市と決めたが、それ以外の日も売り買いに来ている人の姿が見られる。村人が作った農作物だけではなく、村周辺で取れる魚介類や村人手作りのお菓子が並ぶなど、活気ある朝市が村に誕生した。これまでの朝市の経験を元に、外部からの業者がこの朝市で物を販売することを一切禁止した。しかし、ここに住む村人が外部から持ってきた商品を販売するという点に関しては、急には否定できないため、徐々に調整をしているところである。

2) コンケン県ボン郡ベックヤイ区ノンテー村&ヤナーン村

1999年11月、調査の一環でヌーケンの村の朝市を見学したことがきっかけで村の朝市が始まった。前回の報告と同様な規模で朝市は継続されている。この村に関わるうちに、少しずつこの村の問題点が見えてきている。この村には、農業グループ、貯蓄グループ、織物グループなど10以上の村人によるグループがあるが、そのどれもが統一性に欠け、村の活動としてのまとまりがない。そのため朝市の活動に関しても、村全体の活動として成り立っているとはまだ言えない。

こうしたことを配慮し、2月3日、コンケン大学内にある農村開発研究所(RDI)スタッフのウィチアン・センチョート氏を講師として招き、村のお寺で集会を開いた。タイの村では、政府を通じてたくさんの資金援助がなされているが、そのどれもが継続性に欠け、その資金に関してもいつのまにか消えてなくなってしまう、というタイの村の一般的な状況を具体的に村人に対して説明をしてもらった。「お金が外から来るのでグループ化する」という構図はこのノンテー・ヤナーン村にも見られるため、この集会のなかであらためて村のグループ化の意味を村人たちは認識した。

3) コンケン県ボン郡カオニウ区 チャイパッターナー村&ノンブア村

調査を始めた99年5月の時点で、この村に既に朝市があった。(99年2月スタート)その朝市の活動状況を学ぶためにこの村を調査対象地域に取り入れた。日曜日だけの小さな朝市が細々と取り組まれていたが、そこに行政区レベルの組織であるオーポーター(行政区運営機構)が入り込み、村レベルではなく、その上の行政区レベルの市場を開くことが提案され、2000年9月に実際にその市場が開催された。しかし、その朝市は村人による市場というよりも、普通の町にある雑貨などを置く定期市となんの変わりもなく、結局2回ほど開催しただけで崩れてしまい、それと同時に村の小さな朝市も消滅してしまった。そうした行政区レベルの活動との関係を配慮し、我々はその動きに少し距離を置いて村に関わっていたが、少しずつその調整をし始めた。1月24日には、村人による本来の朝市に興味のある村人数人をノンウェンソークプラの朝市に見学に連れていった。まだ調整にはしばらく時間がかかりそうである。

4) コンケン県シーチョンブー郡シーチョンブー区コークスーン村&コークパークン村

上記した3村は、コンケン市内から約70 - 80キロ南下した地域に広がる。このシーチョンブー郡は、コンケン市内から西へ約100キロ離れたところにある。こうした活動地の距離の制約があり、このプロジェクトがスタートしてから、コークスーン村&コークパークン村の朝市の活動にあまり関わりきれないでいるというのが現状である。このプロジェクトのキーパーソンでもあるヌーケン・チャンターシーに関しても、他のNGOのスタッフとして、その仕事に追われているため、この村の朝市に関してのフォローアップは仕切れて

いない。朝市の状況としては、いまだ火曜日の朝市だけが際立っている状況であるが、2月に行なわれた「1年を総括するミーティング」での話し合いがきっかけとなり、現在村人による市場を取り戻していこう、という動きになっている。同じ時間帯で市場を開くと火曜市と重なってしまうことを考慮し、夕市という形で村人による市場を再開する計画段階にある。

3. 他地域の現状及びネットワークとの関係について

イサーンNGOCOD（タイ東北部のNGOネットワーク団体）と活動を共にしているため、タイ東北部のNGOが企画する数々の会合に参加した。そうした成果の表れとして、NGOスタッフを通じて、地場の市場プロジェクトに興味を持つ人たちが徐々に増えている。他村から朝市見学に来る人もあらわれた。1月には、朝市が始まったばかりのノンウェンソークブラの朝市にコラート県2地域の村人が見学に来た。JVCが見学後のフォローアップも行なったので、その2地域でも朝市が始まることとなった。

調査スタート時点（99年5月）では2地域（コークパークン＆コークスーン村、チャイパッターナ＆ヤナーン村）だった朝市は以下の6地域13村に広がった。

- ・ コンケン県シーチョンブー郡シーチョンブー区コークスーン村＆コークパークン村
- ・ コンケン県ポン郡ベックヤイ区ノンテー村＆ヤナーン村
- ・ コンケン県ポン郡ノンウェンソークブラ区ノンヤプロン村＆ノンウェンソークブラ村
& ノンウェンコート村
- ・ コンケン県ポン郡ソークノックテーン区ソークノックテーン村＆ソークノックテーン
パッターナ村＆ソークカームノイ村（2000年9月16日～）
- ・ コラート県ブアラーイ郡ノーンウア区ノーンチャン村（2001年2月17日～）
- ・ コラート県ブアラーイ郡ノーンウア区クムマウ村＆スワンモン村（2001年2月21日～）

以上